



<http://www.cerespo.co.jp/>

40th
and more

CERESPO

CORPORATE REPORT 2017

セレスポ コーポレート レポート

株式会社セレスポ CERESPO CO.,LTD.

〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-21-5 TEL:03 (5974) 1111 / FAX:03 (5394) 7651

2017年7月発行



セレスポ



セレモニー部門 建設式典



©Satoshi TAKASAKI / JTU

スポーツ部門 2016 世界トライアスロンシリーズ横浜大会



フェスティバル部門 第70回全国レクリエーション大会 in 岐阜

セレスポの目指す姿

イベント・ パートナー

ソリューション・

お客さまに寄り添い、課題を共有し、解決に向けて全力で取り組みます。
人の心に働きかけ、人の心に響き、人の心が動く。
そんなイベントを多く仕掛けていく、手掛けていくことを目指しています。



プロモーション部門 Slide the City



その他部門 第45回消防救助技術関東地区指導会



コンベンション部門 平成29年学内企業展 名古屋電気学園愛知工業大学様

CONTENTS

1	トップメッセージ	03	5	特集	17
2	セレスポの軌跡	05	6	人材創造	19
3	セレスポの1年	07	7	エシカル・アプローチ	21
4	セレスポの事業	09	8	スポーツ振興	23
	・セレモニー部門		9	コーポレート・ガバナンス	25
	・スポーツ部門		10	決算ハイライト	28
	・フェスティバル部門		11	会社情報	29
	・プロモーション部門				
	・コンベンション部門				
	・その他部門				



「セレスポの幸福」の 経営理念のもと、 持続的な成長が可能な 企業を目指します

代表取締役社長 稲葉 利彦

セレスポの幸福マンダラ



●=セレスポが寄与するもの
★=セレスポが享受するもの

※1 ESP: イベント・ソリューション・パートナー/プレイヤー
※2 CSR: 企業の社会的責任

6期連続の増収増益を達成

2017年3月期の業績は、おかげさまで6期連続の増収増益となり、過去最高の売上高を記録することもできました。その要因としては、ここ数年、全社一丸となり取り組んでいる「顧客起点の発想と現場力の発揮」にあると感じています。お客さまアンケートでの満足度は99%を超え、継続してご発注いただけるお客さまの案件も増加しました。

業績を大きく押し上げた要因には希望郷いわて国体があります。行幸啓行事である総合開・閉会式に加え、各種競技会場の設備面を幅広く請け負うことができたことも、確実な運営を通じて長年培ってきた信頼感の表れと受け止めております。また、スポーツ部門においては大きな競技大会のみならず関連行事の受注や新規顧客の開拓が進んだことも要因の一つです。これらの大型案件を中心にさまざまな業務に携わっていくことで、会社・社員が成長を遂げ、全体を押し上げたと考えております。

持続的成長に向けた取り組み

イベント業界には既に追い風も吹いています。この大きなチャンスに最大限の収益を上げられるよう、社内の労働環境や協力会社を含めた制作体制を抜本的に見直す基盤整備に注力します。

次の中期経営計画は2020年度までとなりますので、ラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピックなど国際的にも大変注目されるイベントが含まれます。イベントそのものはもちろん、企業や自治体がそれぞれに行う関連行事も増えます。これらの押し寄せるニーズに適切に対応していける企業力を身に付けていきます。

また、2021年以降も成長可能な企業となるのが経営上の狙いです。時代の求める変化に適應するために、当社はエシカル・アプローチを掲げています。既にISO20121(イベントの持続可能性に関するマネジメントシステム)を認証取得し、サステナブルかつユニバーサルな社会の実現に向けた取り組みを始めております。

セレスポの強み

当社の機能としての強みは、全国展開をしていることと企画から設営や運営まで一気通貫で対応できる点にあります。全国に協力会社も広がっていますので、それだけ質の高い業務を幅広く対応できるということです。特に、毎年開催地が変わる大規模な案件であればこの特徴が強みを発揮しますし、携わることで協力会社の発掘・連携強化も行えるため、制作体制も年々強化されていきます。毎年全国のイベントを手掛けていることがその評価であると受け止めています。

当社の要は社員です。会社を強くしていくためにも社員による業務の質の向上には常に取り組んでおり、ここ数年、そのテーマとして「顧客起点の発想と現場力の発揮」を掲げています。社員一人ひとりが目の前にいるお客さまの立場に立って物事を考える習慣がついてきたこと、この思考に基づき柔軟な現場対応が当たり前になってきたことで、成長の基盤が強くなってきていると感じます。

経営理念「セレスポの幸福」

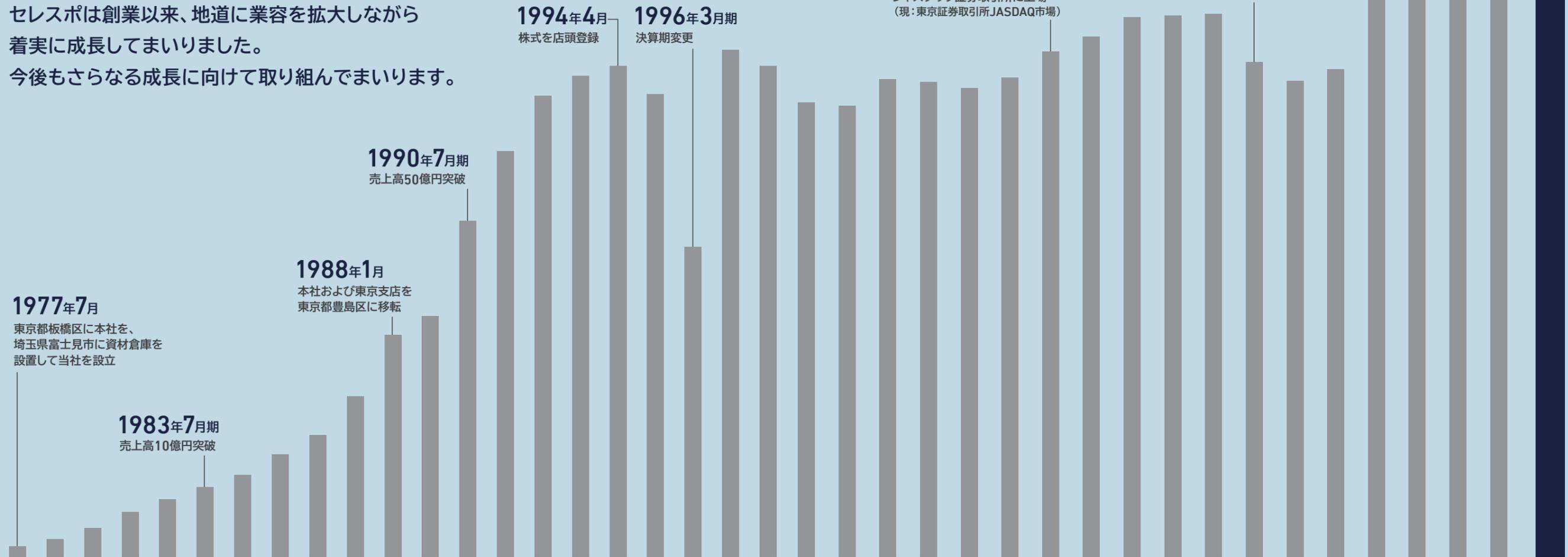
当社では「セレスポの幸福」という経営理念を持ち、それを全ての企業活動の拠りどころとしています。これは、まず自らが周囲のステークホルダーの幸福に寄与することで、自社の幸福を呼び込むという考え方です。この理念に基づき、各ステークホルダーの幸福を実現できるよう積極的に働きかけています。

ステークホルダーとしては、顧客、株主、取引先、社会、社員を設定しています。「セレスポの幸福」の目的はこれらのステークホルダーと当社との間に幸福の連鎖を作ることであり、その起点は「社員の幸福」からとしています。それは会社の活力は社員が作り出すものだからです。

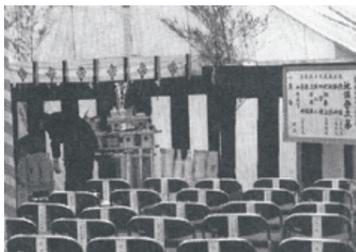
社員が楽しみながら働くことがよい仕事につながり、それが周囲の幸福を実現し、その状況が自分たちの新たな幸せとして返ってくる。これからも、そのような幸福の好循環を生み出すよう努めていきます。

私たちの仕事は、 特別な日を創ることです

セレスポは創業以来、地道に業容を拡大しながら
着実に成長してまいりました。
今後もさらなる成長に向けて取り組んでまいります。



1977年



三菱建設様地鎮祭
セレスポの初イベント

1987年



第5回全国都市緑化フェア
グリーンハーモニーさいたま'87
大型官庁案件の受注

1993年～1998年



長野五輪関連イベント
安全祈願祭を含め
さまざまなイベントを受注

2005年



愛・地球博
数々のパビリオンの運営を受注

2008年



第59回 全国植樹祭(秋田県)
初めて行幸啓行事を元請受注

2015年



新東名高速道路開通式
日本の大動脈が繋がった記念式典

セレスポの1年

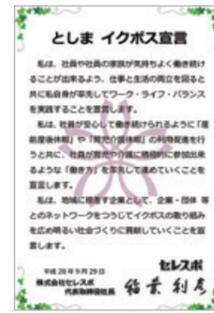
当社は1年を通じてさまざまなイベントを手掛けております。その規模・ジャンルは幅広く、一つ一つのイベントの成功に向けてお客さまと共に全力で取り組んでおります。



EcuadorDayにて運動会による国際交流に協力

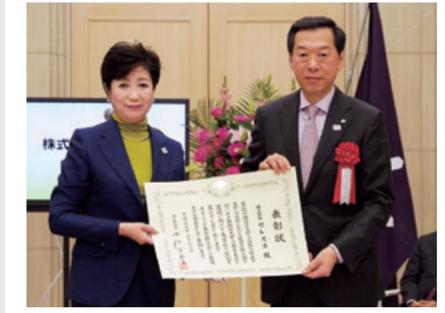


としま イクボス宣言



国際標準規格ISO20121認証取得

詳細17・18ページ



東京都スポーツ推進モデル企業に選定

詳細23ページ



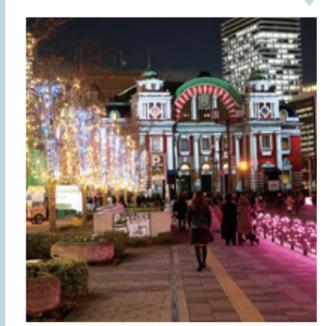
桜イベント



花火大会



運動会



イルミネーション



出初式

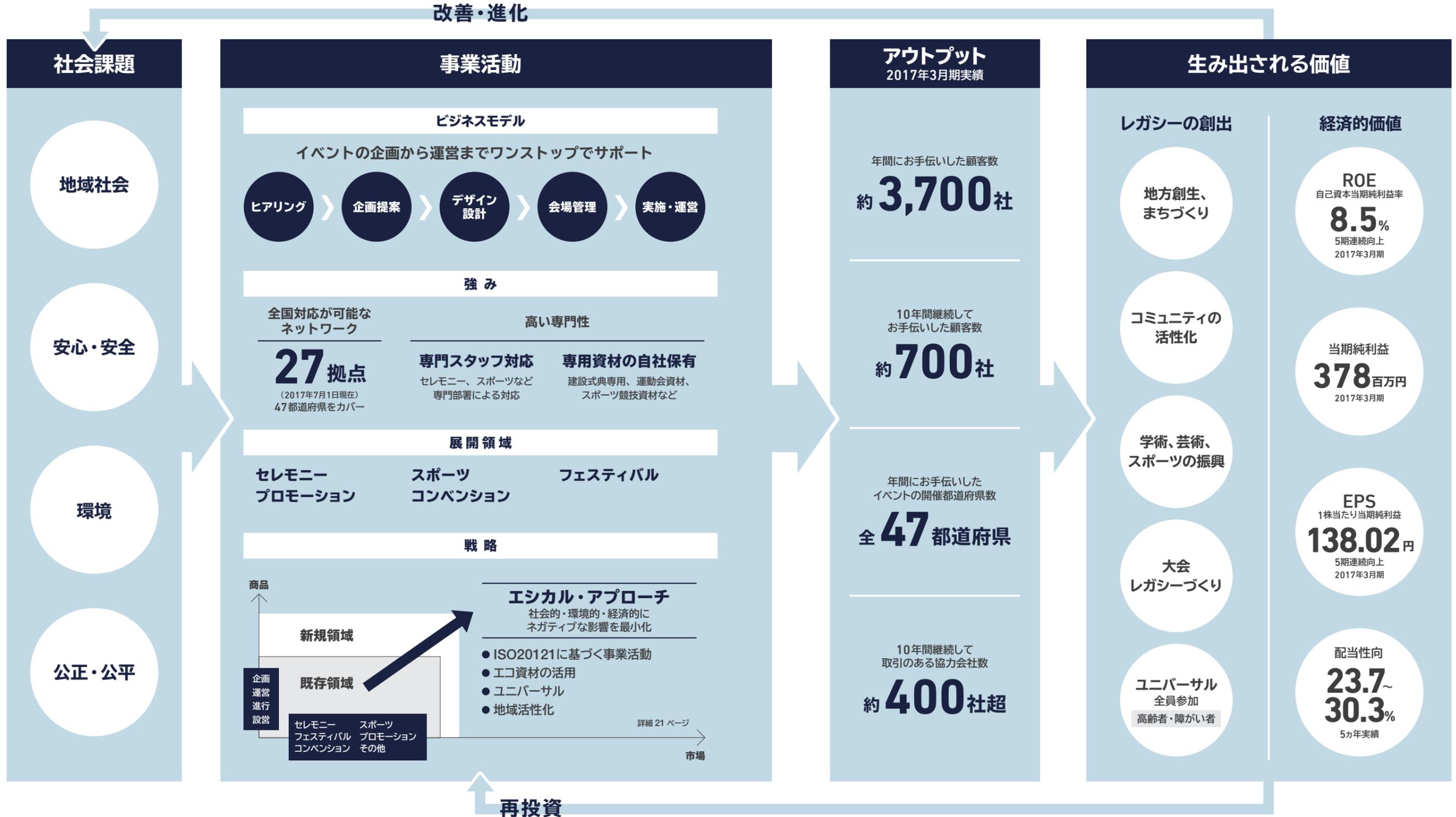


卒業式

ビジネスモデル

当社のビジネスモデルは、直接体験の場であるイベントを通じて顧客の目的実現に向けた課題の解決をワンストップでサポートしていくことにあります。経営理念である「セレスポの幸福」では「イベントを通じて自らを含む周囲の幸福を実現し、笑顔のある明るい社会づくりに貢献する」ことを掲げ、これを実現するために当社を取り巻く株主・顧客・社会・取引先・社員などのステークホルダーと良好な互恵関係を築くことを全ての活動の起点としております。

今後も持続的成長を可能とする企業として時代の求める変化に適応するために、経済的価値に加え、イベントを契機とするレガシーの創出に努めることで、社会に信頼され、ステークホルダーと共に成長を続けられる「イベント・ソリューション・パートナー」を目指してまいります。



4

セレスポの事業



建設式典



2016 世界トライアスロンシリーズ横浜大会

セレモニー部門

CEREMONY

主なイベント

建設式典、記念式典、行幸啓行事 など

売上高

35億19百万円

(前期比25.1%増 ↗)

売上高構成比

28.7%

当期の概況

2016希望郷いわて国体・大会 総合開・閉会式をはじめとする行幸啓行事や企業・自治体等の周年記念式典などの大型案件が牽引すると共に、長年培った品質面での信頼感をもとに大型建設式典の受注が増加するなど建設式典が安定的成長をしていることで販売単価が向上し、売上高は3,519百万円と前期比25.1%の増収となりました。

強み

- 専門部署（行幸啓、建設式典）による豊富な実績とノウハウによる提案力
- 建設式典専用資材の保有
- 安心・安全を重視した運営管理と進捗力

当期に請け負ったイベント



岡崎市制施行100周年記念式

平成28年7月1日に挙行された岡崎市制施行100周年を記念した式典において、企画・運営から会場設営や警備など幅広くお手伝いさせていただきました。市政の発展に貢献された方々の顕彰・表彰やアトラクションを開催し、岡崎市の歴史と、次の100年に向けての希望を感じることができる式典となりました。



2016希望郷いわて国体・大会 総合開・閉会式

第71回希望郷いわて国体の総合開・閉会式が、天皇后両陛下がご臨席のもと、北上総合運動公園北上陸上競技場で行われました。当社では大型仮設照明設置管理や、設計業務をはじめとした会場設営のお手伝いをさせていただきました。「広げよう 感動。伝えよう 感謝。」のスローガンのもと、スポーツを通して、日本を元気にしたいという思いでつながったイベントとなりました。

スポーツ部門

SPORTS

主なイベント

競技大会、国民体育大会、インターハイ、市民参加型スポーツ大会、運動会 など

売上高

31億08百万円

(前期比12.7%増 ↗)

売上高構成比

25.3%

当期の概況

日本陸上競技選手権大会、世界トライアスロンシリーズ横浜大会の継続受注に加え、希望郷いわて国体・大会競技関連案件の受注も好調であり、また、企業運動会の受注も増加いたしました。近年は、会場設営だけでなく運営進行を含むオペレーション業務全体を請け負う中で販売単価向上に注力し、売上高は3,108百万円と前期比12.7%の増収となりました。

強み

- 専門部署（プロ・アマスポーツ競技、国体競技）によるワンストップソリューション
- さまざまなスポーツ関連団体とのスポンサーシップ
- 競技専用資材の保有

当期に請け負ったイベント



2016希望郷いわて国体・大会

第71回となる国体が岩手で開催され、合計34競技（本大会）が行われました。当社では行幸啓である総合開・閉会式に加え、数多くの競技の設計および設営をお手伝いさせていただき、早いところ5年前からお客さまと共にイベントの成功に向けて取り組んでまいりました。当社では専門部署を設置し、今後も国体事業を通じたスポーツ振興にも取り組んでまいります。



STNet大運動会2016

株式会社 STNet様の社内大運動会が高松市で開催されました。当日は社員のほかご家族も含め約400人が参加され運動会を通じた社員間のコミュニケーションが図られました。ますます注目度が高まっている企業運動会。当社では企画から当日の運営までご協力させていただきました。



第70回全国レクリエーション大会 in 岐阜



Slide the City

フェスティバル部門

FESTIVAL

主なイベント

市民祭、産業祭、花火大会、文化イベント、
大学祭、納涼祭 など

売上高

22億99百万円
(前期比12.5%増↑)

売上高構成比

18.8%

当期の概況

地域に根差した営業活動に基づく付加価値提案の結果、『パトローヴェン「第九」演奏会世界に広がれ!「とくしま“歓喜の歌”プロジェクト」』や高麗郡建郡1300年記念祭の受注等、地域振興イベントの大型案件が増加したことにより、売上高は2,299百万円と前期比12.5%の増収となりました。

強み

- 地域振興イベントの実績とノウハウ
- 全国拠点網を生かした対応力
- 各拠点でのイベント資材の保有

当期に請け負ったイベント



SATOYAMAと共に生きるEXPO

埼玉県三富今昔村のくぬぎの森で開催された、環境をテーマとした講演やワークショップで自然に触れ合いながら、学び、遊ぶことができる環境EXPOです。当社は運営・進行に加え、ペビーカーをお預かりしたり、車いすをご利用の方のサポートなどを目的としたガイドサポートセンターの実施で協力をさせていただきました。



岡崎モータースポーツフェスティバル

愛知県岡崎市制100周年の記念の一環として岡崎中央総合公園にて開催され、モータースポーツを通じてその魅力を発信するイベントで、当社は、会場全体の設計・設営のお手伝いをさせていただきました。ご当地キャラの登場や体験コーナーなども多数設置され、大人から子どもまで楽しむことができるイベントとなりました。

プロモーション部門

PROMOTION

主なイベント

見本市・展示会、新商品発表会、PRイベント、
展示即売会、プロモーションツール制作 など

売上高

20億01百万円
(前期比4.2%増↑)

売上高構成比

16.3%

当期の概況

施工・運営品質の向上により既存顧客からの継続受注が続くと共に、企画提案力の強化が実を結び大型案件も受注したことにより広告宣伝、販売促進に関するイベントの受注が増加し、売上高は2,001百万円と前期比4.2%の増収となりました。

強み

- 専門部署(プロモーション)を保有
- 全国拠点網を活用した均一なサービスとクオリティの提供
- 大型施設の指定会社としての実績とノウハウ

当期に請け負ったイベント



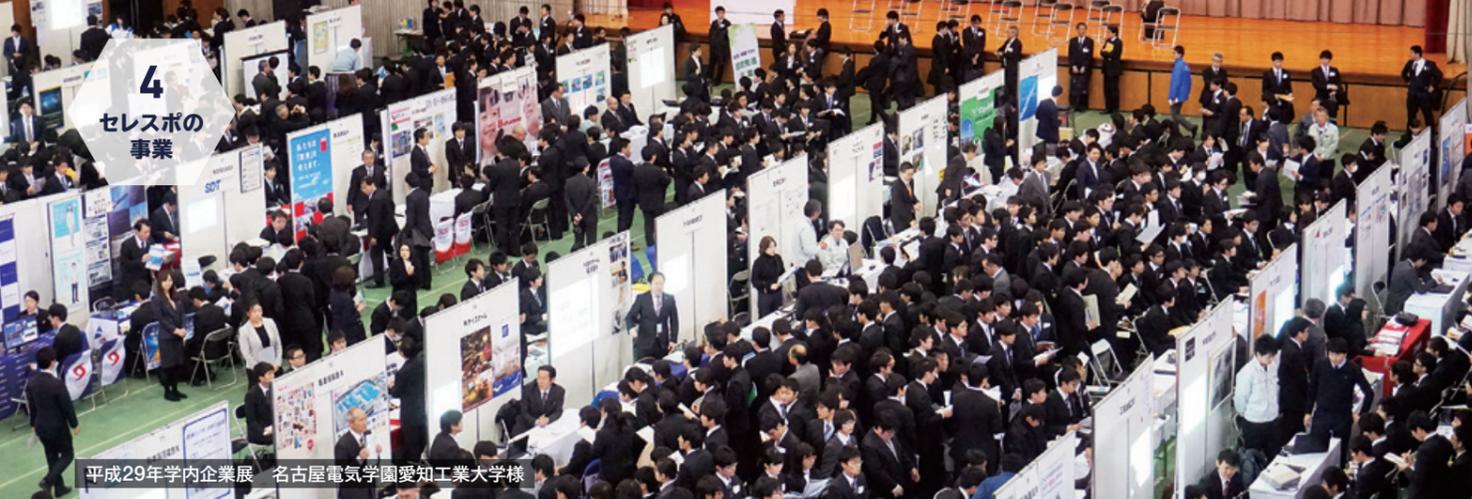
天神祭コレクション 2016

「天神祭コレクション」とは、2010年から始まった浴衣を題材としたショーイベントで、2016年は梅田で開催されました。クリエイターによる浴衣の創作とアレンジをコンテスト形式で競い合い、日本古来の文化を継承することを目的としています。当社では会場設営のお手伝いをさせていただきました。



ベルギービールウィークエンド2016

ベルギービール好きにはたまらないイベントを2016年は全国8都市でお手伝いさせていただきました。フードやドリンクだけでなく、会場からも本場ベルギーを感じられる例年大賑わいのイベントです。セレスポは全国に拠点を持つ企業として、今後も経験とノウハウを生かしたサポートを行ってまいります。



平成29年学内企業展 名古屋電気学園愛知工業大学様

第45回消防救助技術関東地区指導会

コンベンション部門

CONVENTION

主なイベント

会議、学会、集会、シンポジウム、株主総会 など

売上高

9億11百万円
(前期比9.9%増 ↗)

売上高構成比

7.4%

当期の概況

案件数は減少したものの、定例案件への付加価値提案により案件規模の大型化や業務請負範囲の拡大等につながったことで販売単価が向上した結果、売上高は911百万円と前期比9.9%の増収となりました。

強み

- 全国拠点網を生かした対応力
- 併催イベントとの強い連携体制

当期に請け負ったイベント



第72回日本PTA東海北陸ブロック研究大会名古屋大会

「明日の子どもたちのために ～NAGOYAかに奏でよう♪家庭・学校・地域のハーモニー～」という大会スローガンのもとに、開催されました。東海北陸6県1市から約2,750名が参加し、6つの分科会にわかれて実践発表とパネルディスカッションが行われました。当社は各分科会の設営を中心にお手伝いさせていただきました。



ヒューマンライツ・フェスタ東京2016

「障害者の人権」をメインテーマに、シンポジウムやダンス・フェスタ、障害者スポーツ体験などのさまざまなプログラムを東京国際フォーラムで展開し、3日間で約12,100名の方にご来場いただきました。参加者に人権について考える機会を提供するために、会場設営をはじめ運営やワークショップの企画、広報のサポートなどをさせていただきました。

その他部門

OTHER

主なイベント

防災訓練、指定管理者事業、選挙関連 など

売上高

4億32百万円
(前期比14.3%増 ↗)

売上高構成比

3.5%

当期の概況

近年の安全意識が高まる中で、防災訓練の受注数が増加し、また、参議院議員選挙ならびに東京都知事選挙により選挙関連案件の受注が増加した結果、売上高は432百万円と前期比14.3%の増収となりました。

強み

- 防災訓練の実績とノウハウ
- 選挙関連の実績とノウハウ



お客さまの声

セレスポではイベント制作において、「現場力」と「顧客起点」を大切にしております。ここでは実際にイベントをサポートしたお客さまからいただいた声をご紹介します。

機転・対応力

- 急な要望にもすぐ対応いただき、大変感謝しております
- 無理な要望も柔軟に対応していただきありがとうございました
- 複雑な作業指示でしたが、丁寧にサポートいただきありがとうございました

マナー・教育

- 打合せの回数も多く、また多方面への配慮もありましたので機会があればまた依頼したいです
- 良く働いていただきました。ありがとうございます。好意の持てる対応でした
- 丁寧な仕事でした。親身になっていろいろと教えていただきました。安心感がありました

パワー・体力

- 当日の変更に際に対応いただき、助かりました。ありがとうございました
- いい思い出になりました。スピーディーな運営に感動しました
- 短い時間でしたが、作業も間に合わせていただきありがとうございました

総合力

- 事前準備から当日の設置作業等、スタッフの皆様のおかげでとてもスムーズでした
- お願いしていたことはもちろん、それ以外も積極的にきめ細かなご対応をいただき、安心してお願いできる優良企業であると感じました
- 早めに図面で寸法を出してステージ、テント位置を決めていたので、設営がスムーズにいきました

セレスポがイベントの持続 「ISO20121」認証を取得



セレスポさんには、
次世代を見据えたイベント運営の
継続に期待しています。

SGSジャパン株式会社 認証・ビジネスソリューションサービス
事業部長 竹内 裕二

可能性に関する国際標準規格

2016年11月、セレスポは、イベントの持続可能性に関する国際標準規格である「ISO20121」の認証を、本社および全拠点において取得しました。イベント制作会社として、組織全体を対象にした認証取得は日本で初めてです。ISO20121の理念や認証のポイント、また取得に至る道のりや苦労について、審査機関であるSGSジャパンの認証・ビジネスソリューションサービス事業部長竹内裕二様と、セレスポのISO20121プロジェクトリーダーである西岡光徳に、お話を聞きました。



これからもイベントを通じて、
持続可能な社会の発展に
貢献していきます。

株式会社セレスポ ISO20121プロジェクトリーダー
事業支援部 事務2課 課長 西岡 光徳

評価のポイントはトップの「リーダーシップ」

SGSグループはスイスに本社を置き、140か国で検査、検証、試験および認証サービスを提供する世界最大級の民間審査機関で、日本では1980年代からサービスを行っています。今回セレスポさんが認証取得した「ISO20121」は、イベントマネジメントにおいて持続可能性に取り組んでいくための国際標準規格で、2012年に発行されオリンピックやワールドカップなど大規模イベントにおいて活用されています。国内での取得は、単独のスポーツイベントなどを含めるとセレスポさんが3例目ですが、全国レベルで拠点を持つ企業の取得としては初めての例です。

ISO20121は、大規模イベントや関連するサプライチェーンにおいて環境影響や人権問題などの観点から持続可能なイベントマネジメントの在り方を提起しており、イベントマネジメントにおける組織の課題を、社会面・環境面・経済面から特定し、PDCA (Plan-Do-Check-Act) のサイクルを回しながら継続的改善を実現する仕組みが運営されて

いるかを測る規格です。ポイントとなるのは、組織のトップがリーダーシップを発揮し、各イベントにおける利害関係者（ステークホルダー）のニーズと期待を理解した上で、運営する人たちの役割を明確にして必要な教育を施し、ルールを決めてそれが守られているかをチェックしながら、持続可能な

イベント運営が行われているかを見る点です。イベントで提供されるサービスや製品についても、サプライチェーンを辿ってサステナビリティが確保されているかを評価します。最も重要な「安心・安全」に関する分野はもちろんのこと、プロモーショングッズが海外の児童労働によって作られていないか、など人権の観点も含まれます。イベントに関わる社員の労働時間の削減、資源の有効活用などは社会面・経済面におけるサステナビリティに関わります。事業経営におけるCSR（企業の社会的責任）のコンセプトもしっかりと内包しています。

企業文化そのもののサステナビリティを評価

セレスポさんの認証取得は、ISO20121が提唱するサステナビリティ推進のための組織と仕組みが整い、26拠点（申請当時）において展開されていること、トップのリーダーシップによって、「イベントを通じて周囲のさまざまなステークホルダーの幸福を実現し、その幸福の輪の好循環によって自らも幸福を享受する」という経営理念が浸透していることなどが背景にあります。イベントのサステナビリティを審査することは、企業文化そのもののサステナビリティを評価することでもあるのです。

東京オリンピック・パラリンピックの組織委員会もISO20121規格を導入することが確実といわれていますが、2020年に向けてISO20121の社会的認知度も上がり、申請する組織やイベントが増えてくると期待しています。セレスポさんにはそのお手本となって、次世代を見据えたイベント運営を継続して欲しいと願います。

ISO20121認証取得に向けプロジェクト発足

セレスポでは2013年に「サステナブルイベント研究所」を設立し、イベントを通じた社会の課題解決に取り組んできましたが、「ISO20121」の考え方や取り組みを全社的に共有することがこれまでのサステナビリティに関する取り組みをさらに強化することにつながると考え、認証取得を目指しました。

2016年1月に職種横断型の16名のプロジェクトチームを立ち上げて以降、サステナビリティやISO20121の規格内容についての勉強会を重ねるなどして情報を共有し、方向性を確認しながらプロジェクトを進めました。まずは規格の取得に向け、インターネット上や書籍による情報収集から始めたのですが、国内では取得事例自体が少ないこともあって得られる情報が限られており、とても苦労しました。時には品質や環境などといった他のISO事例を参考にしたり、日本規格協会が発行しているISO20121の要求事項と利用手引きなどを読み解きながら進めていきました。また、並行して全国26拠点にプロジェクトメンバーが足を運んで研修・教育を行い、400名近い社員の「サステナビリティ」に関する理解を深めるべく普及活動を行いました。オリジナルのテキストを制作して、約2か月で各拠点を回るのは大変な仕事でしたが、拠点によって仕事の進め方やサステナビリティの認識に少しずつばらつきがあったものを、プロジェクトによって上手く統一していくことができたことは、大きな収穫でした。

サステナビリティの実践と実現

持続可能性の課題を「社会」「環境」「経済」の3つの側面から設定し、バランスよく取り組んでいくことでイベントや組織・社会を持続可能なものとしていくことが、この国際規格の目的です。今回の認証取得によって、当社が社会面、環境面、経済面の分野で洗い出した課題に対する取り組みの進捗度合を計る物差しがひとつ増えたかと捉えています。この各分野での進捗度合をISO20121という物差しで確認しながら、社内外に対して、イベントにおけるポジティブな影響を持続的に発信ができればと考えています。

ISO20121取得後は、取り組みを持続し、進化し続けていくことが求められます。今後も1年毎に維持審査、3年目には更新審査がありますので、新たにISO20121推進担当を社内を選任し、活動を開始しています。課題と目標を確認しながらPDCAを回し、次回の審査では現状を維持するだけでなく、レベルアップした状況で臨みたいと思っています。

当社は、この規格を活用し「セレスポの幸福マングラ」の「社会の幸福」で掲げている「サステナビリティの実践と実現」に向けて、さらに取り組むことでこれからもイベントを通じて持続可能な社会の発展に貢献をしていきます。



人材の価値を高める取り組み

当社ではより高い「顧客起点」と「現場力」の実践に向けて、イベントの安全管理から次世代の人材育成までさまざまな研修を行っております。さらに、会社の財産でもある社員一人ひとりが働きやすい環境を整備することにも注力してまいりました。



第3回 Positive Impactセミナー

当社業務に関連する資格取得補助

当社は社員による業務の質の向上に向けて、イベントという幅広い業務に関連する資格の取得を進めています。取得する資格はイベント全般の知識・技術の向上につながるものから、それぞれの職種に応じたより専門的なものまで、年間を通して積極的な取得の奨励を行っています。

また、自発的成長に対する費用支援を行うなど社員が自発的に活動できる環境づくりにも取り組んでいます。

2016年度の
資格取得数

50 件超

安全・安心の確保

当社は、イベント総合請負会社として、最も重要である「安全・安心」を確保するため、協力会社様と一丸となり、「安全・安心」なイベントづくりに取り組んでおります。その取り組みの一環として、協力会社様にもご参加いただき「安全・品質向上推進大会」を開催しております。大会では、当社の安全確保への姿勢と取り組みをご説明すると共に、実際の事故事例をもとに対策を共有させていただいております。今後も継続して取り組みを行い、安全・安心なイベントを提供するように努めてまいります。

事故件数

57.3% 減少

2011年比

※件数は加害者交通事故、労災事故、賠償事故

気持ちの良い職場づくり

当社は、数年前より「ふつうのよい会社」という指針を掲げ、社員一人ひとりに合った職場環境の整備やメンタルヘルスの向上などさまざまな施策を進めてまいりました。2015年からは職場環境等を考える社員参加型のチームを発足させました。2016年にはそのチームでオフィス家具の見直しを検討しました。セレスポの幸福の理念に基づき、今後も社員の幸福を向上させるよう取り組んでまいります。

過去3年間
平均離職率

2.46%

シニア世代の活躍推進

当社は、数年前より再雇用制度を導入し定年後も今まで培ってきた経験やスキルを発揮し65歳まで安心して働き続ける環境が整っています。過去8年においては希望した定年退職者全員が再雇用制度を利用し活躍しています。今後もさまざまな職場環境を整備しながら企業力を高めていきます。

2011年から
(過去8年)
希望者雇用率

100%

ベストプラクティスの共有

当社は、顧客起点を実践する現場力の高い企業に成長するため、社内発表会の「イベント・ソリューション事例共有／発表会」を開催し、情報共有の活性化を進め、プレゼン力や提案力の向上を図っております。昨年は、3,700社のお客さまにお手伝いをさせていただいたイベントの中より、105件の事例の共有化が図られました。5年目になる今年は、より多くの良い事例の共有化を進め、一人でも多くの社員が、お客さまのあらゆる課題解決を行い、イベントに期待される効果が実現できるように、取り組んでまいります。

事例応募件数

105 件

教育・研修制度の整備

当社は、職種や職層に応じた研修プログラムに加え、国内外の大型イベントや社会のテーマに沿った報告会を集合研修として実施しております。また、外部の研修機関が年間実施するプログラムを活用し、他社の方々と共に学ぶ研修を、社員自身の業務スケジュールに合わせて受講できる環境を整えております。

1人当たり
年間研修参加回数

4.2 回

女性の活躍推進

当社は、女性が長く活躍しながら働き続けられる環境を整備するため、4年前に女子パワープロジェクトを立ち上げ、①ライフステージサポート②キャリアサイクル③ワークコミュニケーションの3つの推進計画に沿って女性社員の働き方についてサポートしております。2016年12月には当プロジェクト主催で全国の女性従業員を対象に研修会を開催し、日頃の課題を共有し自身の働き方を改めて考える機会を作りました。今後も引き続き社員の幸福実現に向けて、ダイバーシティの推進に取り組んでまいります。

女性管理職

146% 増
2011年比

出産後復職率

当社は、働きながら子育てを行う女性を支援する制度を導入しておりますが、休職中は復職後のために休職者への会社の情報を定期的に連絡するなどの支援でバックアップしています。復職後も安心して働ける職場づくりや男性の育児参加も推奨し、今後はより一層育児支援を積極的に行い、社員のキャリア形成実現に向けた環境を整えていきます。

2011年から
(過去8年)
出産後復職率

88%

サステナビリティへの取り組み

セレスポはイベントを起点としてサステナビリティに取り組んでいます。イベントに求められる社会的な課題は年々増加・複雑化しています。私たちは、イベントの総合制作会社として、イベントを通じて社会貢献と環境価値の創出に取り組んでいきます。

サステナビリティへの考え方(サステナビリティ方針)

当社は、「イベントを通じて自らを含む周囲の幸福を実現し、笑顔のある明るい社会づくりに貢献する」ことを経営理念に掲げております。これを実現していくために、ステークホルダーとの信頼関係に基づく互恵関係を大切にしています。

私たちは、社会的・環境的・経済的にネガティブな影響を最小化する方法で組織運営およびイベント制作に取り

組んでいきます。セレスポが持続的な成長を遂げることで、長期的に見て社会的・環境的・経済的にポジティブな影響を拡大していきます。

これにより、イベントに関する持続可能性の分野において、リーダーシップを発揮していくことを確約します。

3つの重点領域と
取り組むべき分野

社会
安全・安心、
地域コミュニティ

環境
資源の
有効活用

経済
公正・公平な
経営環境

サステナビリティへの取り組み

	社員	顧客	取引先	株主	社会
社会	●教育・研修制度の充実 ●陸上部	●ユニバーサルイベントの推進 ●情報管理の徹底	●安全・安心への取り組み向上		●スポーツ振興 ●地域活動への参加
環境	●森林資源への配慮	●資材活用への配慮 ●イベントの環境評価	●エコ素材の調達		●保有資材のリサイクル
経済	●気持ちの良い職場づくり ●ダイバーシティへの取り組み	●ISO20121に基づくマネジメントサポート	●良好な関係の維持・向上	●コミュニケーション機会の充実 ●安定的な配当	●スポーツ振興 ●サステナビリティの普及振興

上記の考えに基づき、戦略上の目的および目標を設定しました。これに取り組む上で適切な法的およびその他の要求事項を受け入れ、組織運営およびイベント制作の全ての段階に対して継続的な改善に向けた努力をしています。

イベントの持続可能性に関する国際標準規格ISO20121認証取得

詳細17・18ページ

当社は、全社を対象に、イベントの持続可能性に関するマネジメントシステムの国際標準規格である「ISO 20121」の認証を取得いたしました。

ISO20121とは
「ISO20121」とは、イベントに関するサステナビリティ(持続可能性)に取り組むことを目的とした国際標準規格のことです。ロンドンオリンピック・パラリンピック、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックをはじめ、世界各国の主催者、制作者が活用しています。セレスポでは自らがサステナブルな組織として成長していくために、ISO20121に基づき、課題への取り組みや社員教育を行っています。



車いす体験セミナー

ユニバーサルなイベント実現に向けた取り組み

当社は、より多様性に向けたサービスの提供を目指しイベントのユニバーサル化に取り組んでいます。長年培ってきたノウハウに加えて、各分野の専門家と連携したイベントの企画提案・デザイン設計・会場構成・設営・実施・運営などハードとソフトの両面からユニバーサルなサポートをしています。社員の知識レベルや技術を高めるため社内セミナーも開催。その一環として参加者自ら車いすを体験し、車いすユーザーでも楽しめるイベント会場設計、演出、サポート方法などを学ぶ「車いす体験セミナー」を実施。実際に体験しなければ得られない気づきに加えて、車いすユーザーでもある講師を交えて、直接意見やアドバイスをいただき知識と経験の向上を図っています。セミナーでは当社が実際にイベント会場で使用している仮設スロープなどを利用したサポート体験や、模擬キッチンカーでの飲食の購入体験など、より現実に近いイベントのシーンを再現することで、参加者の気づきや新たなアイデアの創出につなげています。セレスポはこれからも、より安心・安全・快適の追求に努めていきます。



セミナー講師コメント

車いす体験セミナーについて

このセミナーの特徴は体育館などの平らな場所で想像しながら車いすユーザーのサポート方法を学ぶのではなく、実際にイベント会場で使用している設備(スロープ)などを揃えて体験できることで、セレスポならではの気づきやアイデアが生まれます。また一つ一つのバリアを丁寧に説明しながら講師と参加者、参加者同士と一緒に考えていけることもこのセミナーの醍醐味だと思います。

セレスポに期待すること

ちょっとした気づきが、障がいを持っている人だけでなく誰にでも優しく、多くの人にとって大きな支えにつながります。一人ひとりの少々の気づきでも、それが行動につながればきっと世界はもっと良くなっていくことでしょう。だからこそ、このセミナーやセレスポの取り組みをもっともっと広げていくことを期待しています。



上原 大祐 氏(車いす体験セミナー 講師)

D-SHiPS32 代表。生まれつき二分脊椎という障がいを抱えながらも、小・中・高と普通学級で過ごす。19歳の時にアイススレッジホッケーに出会う。
2002年 アイススレッジホッケーを始める
2004年 世界選手権出場
2006年 トリノパラリンピック出場
2010年 バンクーバーパラリンピック 銀メダル獲得
2014年 NPO D-SHiPS32 設立
2016年 NEC東京2020推進室

スポーツ振興

セレスポは、アスリートの支援および競技団体への協賛を通じてスポーツ界の発展に寄与すると共に、スポーツによるコミュニケーションを通じて地域振興の支援をすることで、笑顔のある明るい社会づくりに貢献しています。

平成28年度 東京都スポーツ推進モデル企業に認定

セレスポは、従業員のスポーツ活動の促進に向けた取り組みやスポーツ分野における支援を実施している企業として「東京都スポーツ推進企業」128社に認定され、そのなかから特に社会的な影響や波及効果の大きい取り組みをしているモデル企業に選定されました。2017年3月24日（金）東京都庁にて、「東京都スポーツ推進モデル企業表彰式」が行われ、小池百合子都知事より当社代表取締役社長の稲葉利彦に、表彰状および記念品の楯が贈呈されました。式典中、稲葉は「これからもモデル企業であることを励みに、東京都と歩調を合わせていろいろな角度からスポーツの推進に努めていきたいと思っております」とご挨拶させていただきました。特に評価いただいたのは、陸上部所属選手による「セレスポ陸上クリニック」の開催と未来のアスリート育成に向けたキッズトライアスリートの育成支援です。



平成28年度 東京都スポーツ推進モデル企業表彰式

陸上部の保有と陸上クリニックの開催

セレスポは、陸上選手を社員として雇用し、選手の夢の実現をサポートしています。社員に応援を呼びかけ、「一緒に応援をする」ことで社内の一体感にもつなげています。オフシーズンには、所属選手が講師を務めて地域の子どもたちを対象に陸上クリニックを開催。

所属する3選手により、中学生にスポーツを直接指導しスポーツの楽しさを体感してもらう活動です。2016年2月に藤沢沙也加選手の出身地である岩手県滝沢市で開催し、2016年12月7日（水）には中村真悠子選手の出身地である静岡県磐田市で開催しました。

競技団体への支援

各競技団体への協賛を行うと共に、日本パラ陸上競技連盟の広報業務や日本トライアスロン連合のキッズトライアスリートの育成支援に協力。スポーツ競技を幅広く楽しんでもらえるような支援を実施しています。



このほかにもセレスポでは以下のような活動を行っています。

岩手県総合型クラブ3団体への寄付金贈呈

東北沿岸地区の被災地におけるスポーツ振興に役立ててもらおうと、岩手県国体・障がい者スポーツ大会局、岩手県体育協会を通じて、岩手県内の総合型クラブ3団体に寄付金を送りました。これは平成26年より行っている取り組みで、セレスポ社員による寄付金に会社からの寄付金を加えたものです。寄付金は、クラブの運営費にあてられ、スポーツを通じた地域の交流に役立てられます。

今回の認定を受けセレスポは、さらなるスポーツ振興に向けて、スポーツによる社員の健康・体力の増進をはじめ、アスリートおよび競技団体への支援を通じたスポーツ界の発展に寄与。スポーツによるコミュニケーションを通じて地域振興を支援することで、笑顔のある明るい社会づくりに貢献していきます。

※東京都スポーツ推進企業

従業員のスポーツ活動の促進に向けて優れた取り組みやスポーツ分野における社会貢献活動を実施している企業等を「東京都スポーツ推進企業」として認定し広く都民に周知することで、企業におけるスポーツ活動を推進すると共に、スポーツに対する社会的気運の醸成を図り、2020年に向けて「スポーツ都市東京」を実現することを目的としています。（東京都スポーツ推進企業 募集要項より）



2016オールキッズトライアスロン大会

陸上部（2017年7月1日現在）

セレスポ陸上部の設立は2013年。国が推進するスポーツ振興の取り組みに賛同し、陸上競技において今後の大きな可能性を秘めた陸上選手の育成・強化と夢の実現を応援することを目的としています。所属選手は日々、トレー

ニングと競技大会への出場、セレスポでの業務に励んでいます。また、子どもたちへのスポーツ普及活動などを通して、笑顔のある明るい社会づくりに貢献しています。

選手紹介

藤沢 沙也加

入社年	2013年
出身地	岩手県
所属部署	人事総務部
種目	100m、200m、400m

中村 真悠子

入社年	2015年
出身地	静岡県
所属部署	コーポレートデザイン室
種目	3000mSC(障害) 1500m、800m

真下 まなみ（2016年10月引退）

入社年	2014年
出身地	埼玉県
所属部署	経理部
種目	800m

主な出場大会記録

開催日	大会名	場所	種目	順位	タイム
2016年9月10日	日本体育大学陸上競技会	神奈川	100m	1位	11秒81
2016年9月23～25日	第64回全日本実業団対抗選手権大会	大阪	200m	1位	24秒12
2016年10月7～11日	国民体育大会	岩手	100m	4位	11秒91

主な出場大会記録

開催日	大会名	場所	種目	順位	タイム
2016年9月23～25日	第64回全日本実業団対抗選手権大会	大阪	3000mSC	2位	10分43秒79
2016年10月30日	かわさきフェスティバル	神奈川	800m	1位	2分16秒88
			1500m	1位	4分43秒17

主な出場大会記録

開催日	大会名	場所	種目	順位	タイム
2016年10月30日	かわさきフェスティバル	神奈川	800m	7位	2分17秒45

皆さん、応援ありがとうございました。

2016年10月30日に行われた、かわさき陸上競技フェスティバルのレースで、13年間続けてきた陸上競技を引退しました。今までたくさんの応援、本当にありがとうございました。陸上は引退しましたが、これからもセレスポの一員として頑張っていますので、よろしくお願いいたします。

スポンサーシップ（2017年7月1日現在）

当社は、イベントを通じて、笑顔のある明るい社会づくりに貢献するために、下記団体とのスポンサーシップを結び、さまざまな活動に取り組んでまいります。



（公財）日本体育協会



（公社）日本トライアスロン連合



（一社）日本バレーボールリーグ機構



（一社）日本パラ陸上競技連盟



日本ハンドボールリーグ機構



日本女子ソフトボールリーグ機構



（公社）日本ボート協会



（公財）横浜市体育協会

コーポレート・ガバナンス

当社は、企業経営の透明性・公平性を確保したうえで迅速かつ機動的な意思決定を行うことができる経営管理体制の構築を重要な課題として認識し、コーポレート・ガバナンスの充実に努めております。



コーポレート・ガバナンス体制について

当社は監査役体制を採用しており、2017年7月1日現在の経営体制は取締役8名（うち1名は社外取締役）および監査役3名（うち2名は社外監査役）にて構成されています。

取締役会は月1回以上開催し、当社の重要事項に関する審議、意思決定を行っています。さらに、取締役会に準ずる機関として、代表取締役・担当取締役で構成される経営会議を月1回開催しています。

また、執行を徹底するために、代表取締役・担当取締役・監査役および本社各部門ならびに各部署の責任者で

構成される所属長会議を月1回開催し、各部門の業務執行状況の管理、部門間での情報共有ならびに相互チェックを実施しています。

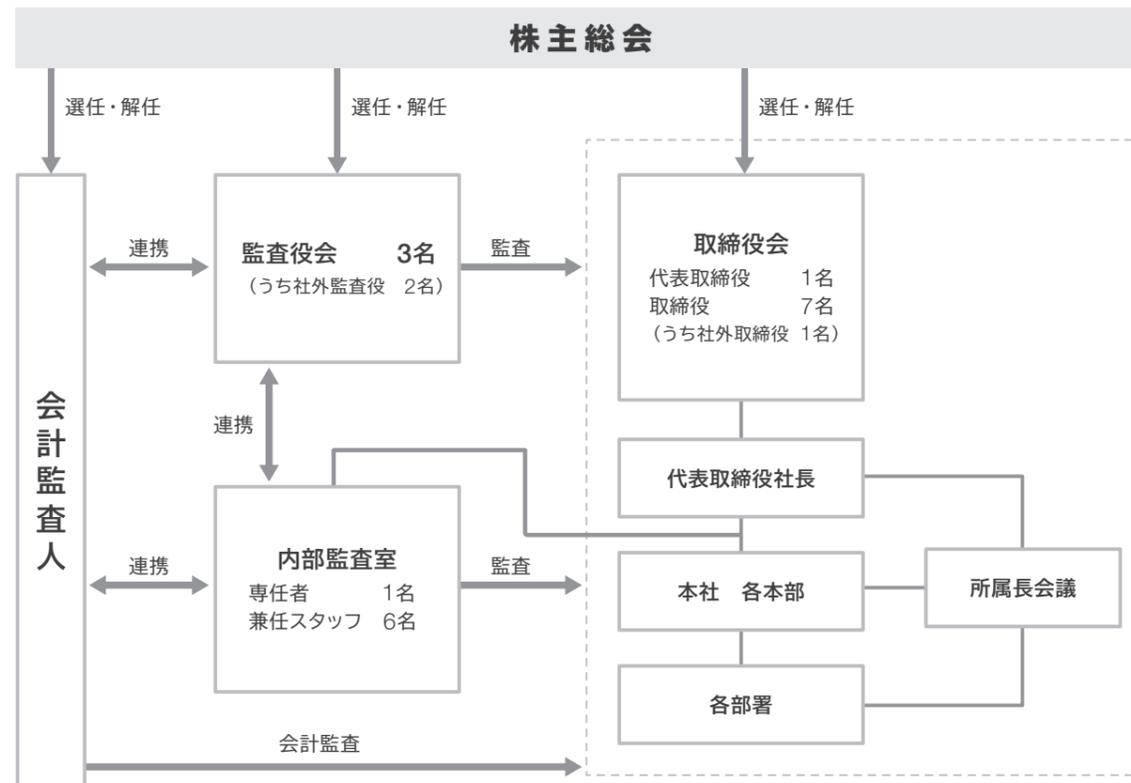
なお、取締役候補および監査役候補の選任は取締役会で行い、監査役候補者に関しては監査役会の同意を得たうえで、定時株主総会にて承認をいただいています。また、取締役および監査役の報酬は、定時株主総会で承認された上限枠をもとに、取締役会および監査役会にて決定されています。

マネジメントチーム



- ① 代表取締役社長
稲葉 利彦
- ② 専務取締役
田代 剛
- ③ 専務取締役
岡本 敦哉
- ④ 常務取締役
鎌田 義次
- ⑤ 取締役
宮田 一哉
- ⑥ 取締役
堀貴 貴司
- ⑦ 取締役
生田 茂
- ⑧ 社外取締役
野末 正博

コーポレート・ガバナンス体制図



稲葉 利彦 1954年3月15日生
1976年4月 株式会社伊勢丹入社
2001年2月 天津伊勢丹社長就任
2007年5月 当社入社（顧問）
2008年4月 当社代表取締役社長（現任）

田代 剛 1964年6月18日生
1983年4月 当社入社
2007年6月 当社取締役営業本部長
2012年4月 当社取締役統括本部副本部長 兼 営業本部長
2012年6月 当社常務取締役統括本部副本部長 兼 営業本部長
2015年6月 当社専務取締役統括本部副本部長 兼 事業本部長（現任）

岡本 敦哉 1958年2月18日生
1981年4月 三菱商事株式会社入社
1990年4月 株式会社伊勢丹入社
2006年8月 株式会社グッチグループジャパン入社
2009年7月 当社入社（管理本部長）
2010年6月 当社取締役管理本部長
2012年6月 当社常務取締役統括本部副本部長 兼 管理本部長
2015年6月 当社専務取締役統括本部副本部長 兼 コーポレート本部長（現任）

鎌田 義次 1963年4月24日生
1982年4月 株式会社東北佐川急便入社
1995年4月 当社入社
2012年6月 当社取締役営業本部副本部長 兼 スポーツ事業部長
2013年4月 当社取締役事業本部副本部長 兼 事業推進部長 事業開発部管掌
2015年6月 当社常務取締役事業本部副本部長 兼 事業開発部管掌（現任）

宮田 一哉 1958年8月20日生
1980年11月 当社入社
2005年7月 当社業務本部長
2007年6月 当社取締役生産本部長
2012年4月 当社取締役経営戦略室長
2014年4月 当社取締役社長室長（現任）

堀貴 貴司 1961年3月25日生
1983年4月 株式会社三菱銀行入行
2013年4月 当社入社（執行役員経理部長）
2014年6月 当社取締役管理本部副本部長 兼 経理部長
2017年4月 当社取締役コーポレート本部副本部長（現任）

生田 茂 1963年11月11日生
1982年4月 蝶や入社
1982年8月 当社入社
2011年6月 当社執行役員東京支店長
2013年4月 当社執行役員事業本部副本部長 兼 事業支援部長
2015年6月 当社取締役事業本部副本部長 兼 事業支援部長（現任）

野末 正博 1949年2月14日生
1971年4月 株式会社日本興業銀行入行
2000年6月 株式会社日本興業銀行 常任監査役就任
2002年6月 年金運用基金理事就任
2015年4月 当社入社（顧問）
2015年6月 当社社外取締役就任（現任）
2016年11月 株式会社東京メガネ 社外取締役就任（現任）
2017年6月 一般社団法人スポーツビジョン研究会理事就任（現任）

社外取締役
メッセージ

明確な理念と先進性で「明るい社会づくり」に 貢献する、セレスポの経営をサポートしていきます

社外取締役 野末 正博

2015年から社外取締役に務めています。私自身は、メガバンクや年金資金運用基金において、企業経営全般やコーポレート・ガバナンス、内部統制にかかわる業務を経験してきました。自らの経験を通じて培ったネットワークとノウハウを生かしてセレスポの経営に貢献していきたいと思っています。

粘り強い現場力と先進的な取り組みが事業領域 拡大の可能性を広げる

セレスポは、2016年度に中期経営計画III（2015年度～2017年度）の最終目標である売上高115億円、営業利益5.75億円を上回る実績を残すことができました。これは、イベントマネジメントにおいて、主催者の不安を最後の一つまで取り除き、全員一丸となって確実にやり終える「現場力」と、中期計画でも掲げられている、社員一人ひとりが自分で考えて行動し改善する「自走力」が両輪となることで企業としての力が増し、成長している結果であると評価しています。

お客さまの希望を丁寧にうかがって企画し、粘り強くイベントを実現する「現場力」に加え、「ISO20121」の認証を取得するなど次世代に向けた品質に取り組む「先進性」はセレスポの強みであり、将来の事業領域拡大の可能性を広げるものだと考えています。イベントは、人をつなぎ、地域の魅力を伝え、お客さま・来場者の一期一会を演出するものです。「来てよし、迎えてよし、世間よし」という、主催者、来場者、そして社会にとって価値がある「三方よし」となるイベントは、地域の経済活動を牽引する役割も担っているのです。

昨年のイベント事例発表会の際、新入社員が「仕事の段取りを工夫して開催前に数十分の余裕を作ったことで、細かな所にひと手間をかけることができた。その結果、お客さまから『期待以上で、セレスポならではの出来栄でした』と、お礼の言葉をいただいた」という報告をしていました。主催者の心に寄り添い、笑顔と感謝があふれるイベントを演出して明るい社会づくりに貢献する、という企業理念が、若い世代に継承されていくことでセレスポ

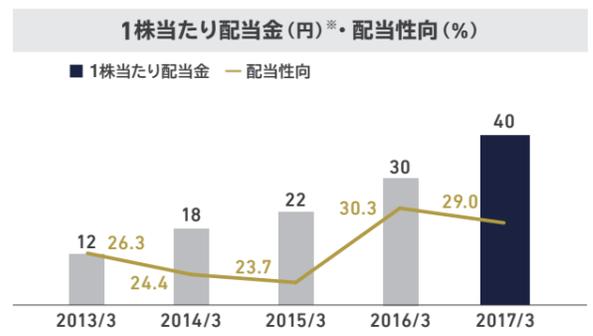
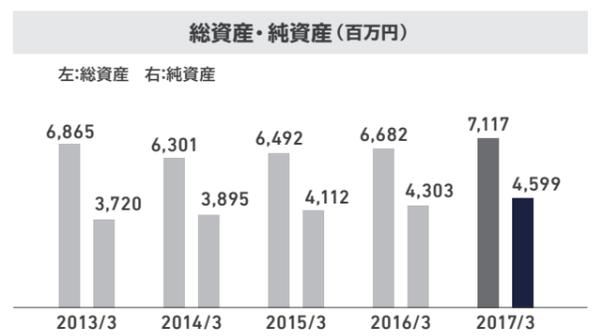
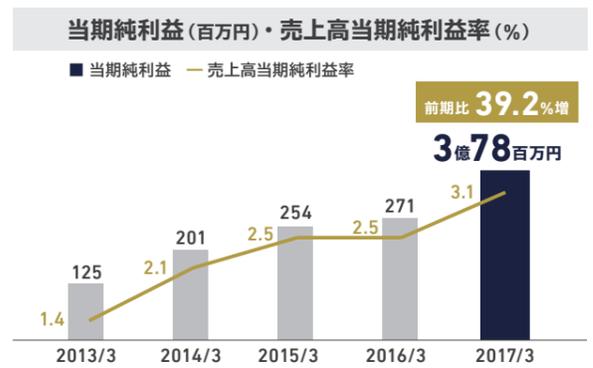
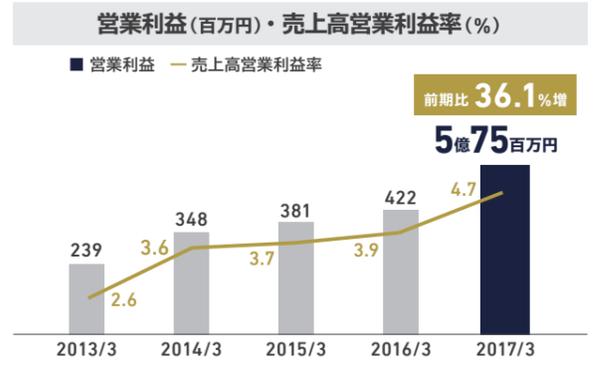
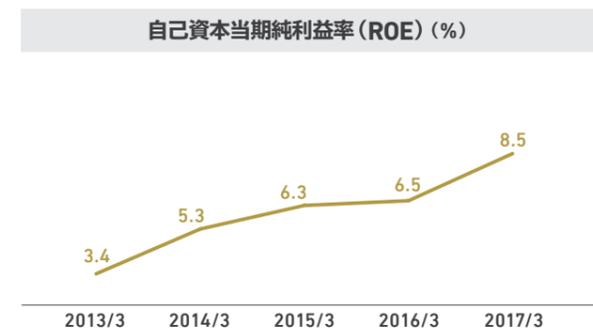
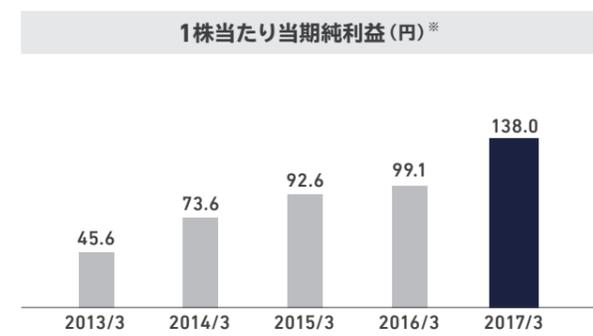
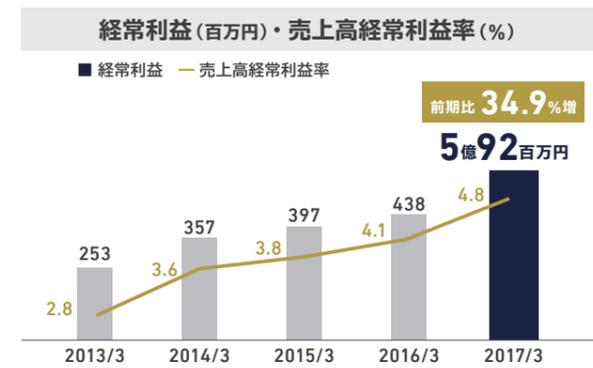
のブランドとなり、東京オリンピック・パラリンピック、その先に向けての企業の形を作っていくのだと思います。

セレスポはまた、誰もが安心して来場し、安全・快適に過ごしていただけるユニバーサルなイベントづくりや、社会的・環境的・経済的に持続可能性のあるイベント運営を目指したサステナビリティへの取り組みに注力しています。これらの先進的な取り組みは、明確な企業理念と行動規範に裏付けされた経営の強い意志と不断の努力によって成果を挙げるものです。顧客の幸福、取引先の幸福、株主の幸福、社員の幸福、社会の幸福が循環する「セレスポの幸福」について、稲葉社長は今年になって改めて「一人ひとりの行動がマンダラ図のように実践されはじめて、経営理念である『セレスポの幸福』がブランドとなる」と、社員に向けた教育に取り組んでいます。新たな挑戦と40年の歴史によって培われた企業理念とが融合し、社員一人ひとりがESP（イベント・ソリューション・パートナー）として質の高い仕事をする中で、セレスポの企業価値がさらに高まると期待しています。

課題と企業理念を共有し、社外取締役の立場 から経営をサポート

2016年度には、次期中期計画に向けての課題も見えてきました。新たな市場・事業分野の開拓については道半ばです。外部人件費や資材費の高騰により、中期計画で掲げている営業利益率5%の水準にはいまだ届かない状況です。現在構築中の新システムと業務構造改革の成果が実現し、マネジメントによる成長戦略の推進と労働改革が着実に実行されることで、セレスポはより大きなステージへ飛躍するものと考えています。

「イベントを通じて明るい社会づくりに貢献する」という企業理念を共有しながら、株主の皆さまからお預かりした資金を有効に使うって長期的な成長に向けた経営をサポートするのが社外取締役の役割だと考えています。監査役、会計監査人とも連携しながら、公正かつ効率的な業務執行に資するガバナンスの整備と運用に努めて株主の皆さまの期待に応えていきたいと思っています。



*2016年10月1日付で2株を1株に併合しているため、各事業年度の期初に併合したものと見做す

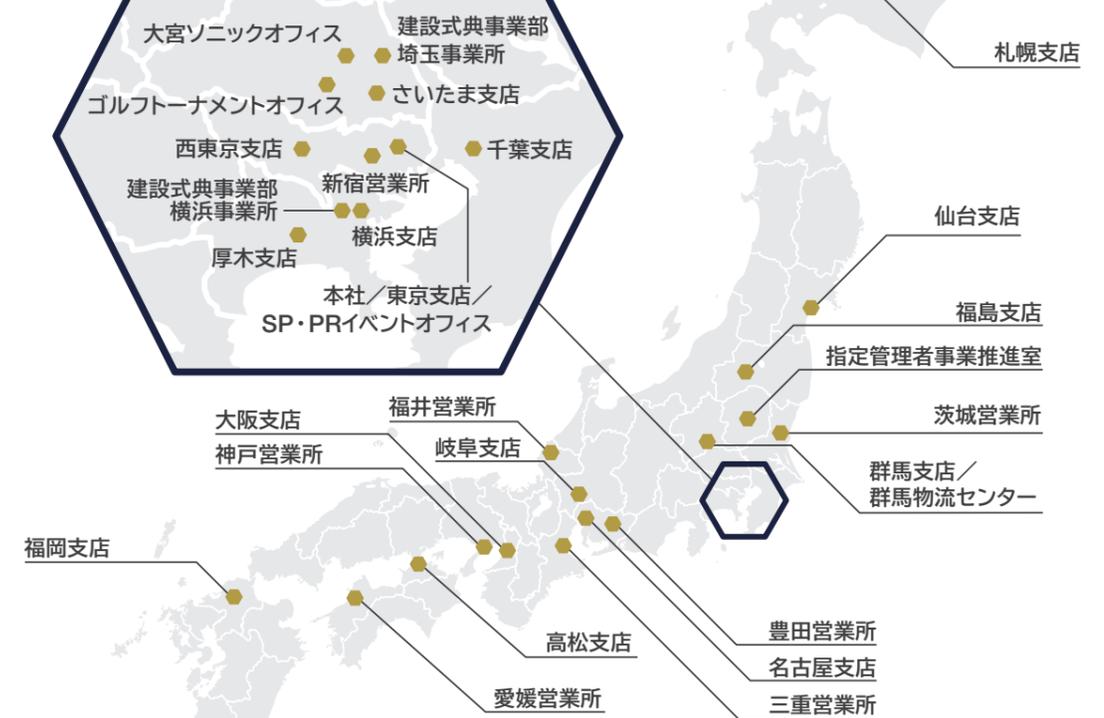
会社概要 (2017年3月31日現在)

商号	株式会社セレスポ 英文社名: CERESPO CO.,LTD.
証券コード	9625
本社	〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-21-5 TEL:03(5974)1111/FAX:03(5394)7651
設立年月日	1977年7月21日
資本金	13億7,067万円
事業内容	1 イベント、プロモーション、スポーツ大会、式典、レクリエーションの企画、制作、会場設営、運営および進行 2 上記に関わる物品・什器備品の企画、開発、製造、販売およびレンタル 3 土木ならびに建築の設計監理および施工 4 警備業 5 特定人材派遣業 6 上記に付随する一切の業務
登録・許可	建設業許可: 東京都知事 許可(特)第140322号 一級建築士事務所: 東京都知事登録 第42544号 警備業認定: 東京都公安委員会 第30003046号 屋外広告業登録: 東京都屋外広告業登録 都広(1)第1137号 プライバシーマーク: 第17000187号 ISO20121認証取得
従業員数	378名

役員一覧 (2017年7月1日現在)

代表取締役社長	稲葉 利彦
専務取締役	田代 剛
専務取締役	岡本 敦哉
常務取締役	鎌田 義次
取締役	宮田 一哉
取締役	堀貴 貴司
取締役	生田 茂
社外取締役	野末 正博
常勤社外監査役	星野 俊司
社外監査役	服部 訓子
監査役	水越 潤

拠点所在地 (2017年7月1日現在)



営業拠点一覧 (2017年7月1日現在)

本社	〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-21-5	TEL:03(5974)1111
札幌支店	〒003-0809 北海道札幌市白石区菊水9条3丁目5-13	TEL:011(821)1810
仙台支店	〒983-0034 宮城県仙台市宮城野区扇町1-3-17	TEL:022(782)0161
福島支店	〒963-8051 福島県郡山市富久山町八山田字勝木沢23-1	TEL:024(935)2233
群馬支店	〒379-2147 群馬県前橋市亀里町1073-36	TEL:027(265)4211
福井営業所	〒910-0858 福井県福井市手寄1-9-7 信用ビル1階	TEL:0776(26)8881
指定管理者事業推進室	〒321-1261 栃木県日光市今市719番地1	TEL:0288(25)7771
茨城営業所	〒310-0803 茨城県水戸市城南1-2-43 水戸NKビル402号	TEL:029(302)7577
大宮ソニックオフィス	〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5 大宮ソニックシティB1F	TEL:048(647)4112
さいたま支店	〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤7-1-1 大黒屋オフィスビル4F	TEL:048(825)3271
ゴルフトーナメントオフィス	〒354-0044 埼玉県入間郡三芳町北永井578-1	TEL:049(259)2631
建設式典事業部 埼玉事業所	〒339-0078 埼玉県さいたま市岩槻区大字掛563-1	TEL:048(758)3722
千葉支店	〒264-0017 千葉県千葉市若葉区加曽利町852-2	TEL:043(214)8448
東京支店	〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-20-7 未広ビル3F	TEL:03(5974)5555
新宿営業所	〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-2-5 新宿ウエストビル3階	TEL:03(5937)3601
SP・PRイベントオフィス	〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-20-7 未広ビル3F	TEL:03(5974)1190
建設式典事業部 東京事業所	〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-21-5	TEL:03(5974)1122
スポーツ事業推進室	〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-21-5	TEL:03(5974)1135
コンベンション推進室	〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-21-5	TEL:03(5974)1130
生涯スポーツ推進室	〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-21-5	TEL:03(5974)1113
西東京支店	〒186-0012 東京都国立市泉1-4-4	TEL:042(574)3020
横浜支店	〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-2-6 VORT新横浜9F	TEL:045(473)2555
建設式典事業部 横浜事業所	〒222-0002 神奈川県横浜市港北区師岡町972	TEL:045(533)5111
厚木支店	〒243-0032 神奈川県厚木市恩名1-6-59 OMビル4-A	TEL:046(222)3551
岐阜支店	〒500-8268 岐阜県岐阜市茜部菱野2-2 服部第2ビル2F南	TEL:058(274)4112
名古屋支店	〒463-0034 愛知県名古屋守山区四軒家2-303	TEL:052(771)7510
豊田営業所	〒471-0868 愛知県豊田市神田町1-1-1 西山地産ビル6F	TEL:0565(37)3558
三重営業所	〒514-0032 三重県津市中央2-4 三重ビル401号	TEL:059(213)8150
大阪支店	〒559-0011 大阪府大阪市住之江区北加賀屋3-1-30	TEL:06(6682)8711
	〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場4-12-12 ニッセイ心斎橋ウエストビル7階 (2017年8月28日より移転)	TEL:06(6258)0050
神戸営業所	〒650-0036 兵庫県神戸市中央区播磨町49 神戸旧居留地平和ビル9F	TEL:078(335)2711
高松支店	〒761-0450 香川県高松市三谷町5076-2	TEL:087(888)1009
愛媛営業所	〒790-0066 愛媛県松山市宮田町188-8 グランディア宮田209号室	TEL:089(915)5570
福岡支店	〒813-0035 福岡県福岡市東区松崎2-24-12	TEL:092(663)5550

株式情報 (2017年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	11,000,000株
発行済株式総数	2,851,750株
株主数	1,009名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社スマイル	550,000	20.07
セレスポ従業員持株会	283,050	10.33
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	277,200	10.11
三木 征一郎	77,862	2.84
日本駐車場開発株式会社	51,400	1.88
稲葉 利彦	50,000	1.82
衣笠 純	47,300	1.73
北原 美子	47,300	1.73
株式会社東和銀行	36,000	1.31
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	35,600	1.30

(注) 1. 当社は、自己株式を111,482株保有しておりますが、上記株主からは除外しております。 2. 持株比率は、自己株式を控除して算出しております。